



【実施日】平成30年10月25日（木）～26日（金）

【参加人員】73名

【行先】福井県六呂師高原自然保護センター・奥越高原牧場、大野城・恐竜博物館

【宿泊先】九頭竜観光ホテル「フレアール和泉」

【行程】

新大阪駐車場（出発）7:58⇒吹田IC（名神～北陸）⇒多賀SA（休憩）⇒南条SA（休憩）⇒六呂師高原自然保護センター（12:12～14:50 昼食・観察）⇒奥越高原牧場（15:00～16:10 見学・乳牛の枯れ草やり、乳しぼり体験）⇒フレアール和泉（宿泊）17:00着…夕食19:00～…二次会21:10～22:30…三次会～



観察会



ザトウムシ（ダニの一種）



牧場見学

【一日目の所感】

秋晴れの奥越高原牧場では4班に分かれて詳しく案内していただき、230頭のホルスタイン、県内の産後1～2週間の雌の仔牛を預かり成長させ種付けして持ち主に返す、牧草を詰めたロールは400キロ近く、厳しい衛生管理、一頭が一日35リットルの牛乳を出すことなどや、今まで経験したことのない乳牛の餌やり（上着を長い舌で舐められた人も）、乳しぼりの疑似体験もさせていただきそら組研修旅行にふさわしい牧場見学でした。

宿舎へのバスの中で、餌やりで見つめてきた大きな瞳の牛が太らされて、人工授精で出産、搾乳、用済みになれば殺され人間に食べられる、その一生を考えると少し暗い気持ちになりました。

